

群馬の土地改良



新年あけましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。 平素より当会の業務運営に格段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力 とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の拡大や減少に翻弄され、日常生活はもとより様々な活動に大きな制約を受けました。当会では引き続き感染対策をはかりながら業務に取り組んで参りますのでご理解ご協力をよるしくお願い致します。

また、ロシアのウクライナ侵略は、世界経済に大きな影響を及ぼし、国内においては、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰を招き、農業経営を圧迫しています。

さらに、昨年も全国各地で記録的な豪雨で甚大な被害に見舞われ、県内でも7月の豪雨により、農地・農業用施設に大きな被害を及ぼしました。頻発する自然災害に備えるためにも農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっています。

このような中で、食料安全保障確立の観点から命を支える食料を確保することは大変重要なことであり、 それには食料生産を支えている農業生産基盤を維持していかなければならないと考えています。

一方、第5次男女共同参画基本計画に続き、土地改良長期計画においても、土地改良区等の女性理事登用 が成果目標とされており、女性ならではの目線や発想を生かし、将来の組織体制強化のために、女性参画を 模索していかなければなりません。

こうした情勢のなか、国の農業農村整備事業関係予算は、令和5年度当初予算が、4,457億円(令和4年度4,453億円)で概算決定されました。すでに成立している補正予算1,677億円と合わせますと、6,134億円が確保されたところです。これは関係皆様の熱意が中央に届けられた結果であり、当会においても引き続き地方からの声を届けていく所存であります。

県におかれましても、農業の体質を一層強化し、農村に活力を取り戻すため、「群馬県農業農村整備計画 2020」に基づき、地域の要望に対応した計画的な事業推進が展開されているところであります。

当会といたしましても国や県の施策に呼応し、関係機関と連携を図りながら、会員皆様方の負託に応えられるよう、役職員一丸となって努力して参りますので、関係する皆様方のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとりまして実り多き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会会長 二階 俊博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を 申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。 皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶といたします。



群馬県知事 山本 一太

明けまして、おめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、心新たに輝かしい新春をお迎え のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本県の農業農村の振興・発展はもとより、県政全般にわたりご理解 とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

前年に引き続き、昨年も「新型コロナの抑え込み」と「経済の回復」に全力を注い だ1年でした。同時に、アフターコロナ時代を見据え、新たな富やイノベーションを 生み出す政策にも、果敢に取り組みました。

日本の温泉文化をユネスコの無形文化遺産に登録する運動に関しては、全国有数の 温泉王国である群馬県が中核となって、与党の国会議員連盟や、知事の会を発足させ ました。遺産登録に向けた強力な推進体制を整えることが出来たと考えています。

加えて、群馬県が、他県より一歩進んだ「DXの推進」や「災害レジリエンスの強 化」を打ち出し、次々と政策を実行していることで、本県の存在感や評価は、大きく 高まったと感じています。実際、2つの大手企業が群馬県への本社機能の移転を決め ました。知事として、こうした動きをとても力強く感じています。

4月には、Gメッセ群馬において、初めて誘致に成功した重要な国際会議「G7群 馬高崎デジタル・技術大臣会合」が開催される予定です。群馬県が目指す「デジタル 技術による地域課題解決」の推進に大きく弾みをつけると共に、群馬の魅力を世界に 向けてアピールする絶好の機会にしたいと考えています。

本年も、群馬県が未来ビジョンとして掲げた「誰一人取り残さず、誰もが幸福を実 感できる自立分散型の社会の実現」を目指し、知事である私が自ら先頭に立ち、邁進 していく決意です。

新しい年が、会員の皆様にとって、実り多き素晴らしい1年となりますよう、心か らお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



群馬県農政部長 倉澤 政則

新年明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素より群馬県農政の推進にあたりまして、多大なる御理解と御協力を賜り、 厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、台風の上陸はなかったものの、7月中旬から下旬にかけて発生した 集中豪雨により、中部地域や利根沼田地域において農地・農業用施設の被害が発生し ました。近年の頻発する自然災害に対しては、日頃から防災・減災対策への備えが重 要であるとともに、家畜伝染病の防疫措置についても、日頃の訓練を活かし、迅速な 対応ができるよう備えておくことが重要であると、改めて認識した一年でした。

農業・農村を取り巻く環境は、担い手の減少や高齢化、国際情勢の変化による資材 価格等の高騰など、多くの課題に直面しています。

こうした中、県では県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画」に基づき、 現状の課題に対応すべく、農業生産基盤の強化、自然災害などリスクへの対応強化、 ゆとりと豊かな歴史的・文化的な魅力を有する農村空間を活かした農泊の推進等、農 業農村振興の各施策を展開しているところです。また、これらの施策により、基本目標である「未来へ紡ぐ!豊かで成長し続ける農業・農村の確立」を目指し、農政部一 丸となって取り組んでおります。

そして、農業農村整備につきましても、「群馬県農業農村整備計画2020」に基づき 「豊かで成長し続ける安全安心な農業・農村づくり」に向けて、収益性向上を図る生 産基盤整備や防災重点ため池の豪雨・地震対策、地域資源を活かした中山間地域の振 興などに計画的に取り組んで参ります。

これらの施策を推進していくためには、会員の皆様と行政等が連携・協働し、一体となって取り組むことが不可欠でありますので、今後とも、力強い御支援と御協力を 賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



群馬県県土整備部長 直庭 宣幸

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、平素より県土整備行政の推進、と りわけ農業集落排水事業をはじめとする汚水処理事業の推進に多大なる御理解と御協 力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県土整備部では、2040年に目指す将来像として「災害に強く、安定した経 済活動が可能な群馬県」を掲げ、その実現のため「ぐんま県土整備プラン2020」に 基づき「災害レジリエンスNO.1の実現」「多様な移動手段の確保」など、様々な施 策に取り組んでいます。

将来像の実現に向けては「美しく良好な環境の保全」も重要な施策のひとつである と考えており、将来の県民に良好な環境を引き継ぐため、人口減少社会を見据え、汚 水処理施設の「広域化・共同化」等を盛り込んだ「群馬県汚水処理計画」の改定を本 年度末に行います。

令和5年度からは、新たな「群馬県汚水処理計画」のもと、「下水道等と合併処理浄 化槽のベストミックスの更なる推進」「広域化・共同化による市町村維持管理費の負担 軽減」「浄化槽処理促進区域の指定推進」を柱として、汚水処理人口普及率の向上を図っ て参ります。

また、農業集落排水施設においても、施設の特性や地域の実情を踏まえ、改築・更 新整備に併せ、「広域化・共同化」による施設の統廃合について、関係市町村と連携し、 計画的に進めて参ります。

今後も、「自然環境の保全」や「健全な水循環の維持・回復」を推進するため、地域 の特性を踏まえた汚水処理人口普及率の向上を目指し、群馬県土地改良事業団体連合 会並びに会員の皆様と連携しながら、効率的かつ効果的な汚水処理事業に取り組んで 参りたいと考えておりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し 上げます。

結びに、会員皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶といた します。



全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 **進藤 金日子**

新年、明けましておめでとうございます。群馬県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円(TPP等対策:760億円、国土強靭化5か年加速化対策:817億円、食料安全保障対策:100億円)が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返えると、新型コロナウイルス感染症が続く中、ロシアのウクライナへの侵略によるエネルギー価格、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰等があり、これらは物価高として国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じていますが、物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、 経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進 行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靭なサプライチェーン再構 築の緊急性を改めて認識し、食料安全保障の強化の必要性も痛感しております。

私は、「食料供給力」(国内生産力、輸入力、備蓄)の中で国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望の下、推進することが重要です。今後も予算を安定的に確保し、貴重な予算を適切に執行し、成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、 皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 **宮崎 雅夫**

輝かしい初春を迎え、群馬県土地改良事業団体連合会会員土地改良区ならびに関係の皆様へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれては、日頃より地域の水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣 政務官を勤めさせていただき、その間、皆様方から多くのご要望等をお受けしました が、それぞれの地域の課題解決等に向け、進藤金日子議員や農水省の職員の皆さん等 と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12 月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、この うち、農業農村整備事業関係については、1,677億円が措置され、この中には、皆様 方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰対策として、増高分 の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決 定額として、前年を上回る4,457億円が閣議決定され、合計額は6,134億円となる見 込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できる よう一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内の食料生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向にも対応するスマート農業を含めた土地改良の促進や農業農村関係人口の拡大の取り組みなどを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」 を理念に初心に立ち返り、これまでにも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題を しっかりお伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即し た制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいる決意ですので、引き続きご指導とご支 援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、群馬県土地改良事業団体連合会ならびに会員土地改良区、関係機関の益々のご発展と皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

農業農村整備の集い

令和4年10月20日 (木)、東京都千代田区「シェーンバッハ・サボー」において、「農業農村整備の集い」 - 農を守り、地方を創る予算の確保に向けてーが、全国水土里ネット、都道府県水土里ネットの共催により開催されました。

集いは、全国の農業農村整備関係者が一堂に会し、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に開催され、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットから約1,000名の参加があり、本県から17名が参加しました。

開会にあたり、全国水土里ネット 二階会長から「来年度予算編成に向けた折衝が進んでいるが、 農家の皆さんの期待に応えられるよう十分な予算確保に向けて、我々は一致団結して進んでいかなければならない。また、男女共同参画の目標達成に向けて本格的に取り組むようお願いしたい。『闘う土地改良』は男女ともに一致団結して更なる闘いを続けていただくことをお願いしたい。」旨の挨拶があり、全国水土里ネット女性の会初代会長 萩原丈巳氏 (水土里ネット山梨 総務課長) に感謝状が授与されました。

藤木農林水産大臣政務官、遠藤自民党総務会長、森山自民党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、江藤自民党総合農林政策調査会長、武部自民党農林部会長、進藤全国水土里ネット会長会議顧問より祝辞が述べら、続いて、来年度の全国土地改良大会開催県である水土里ネット福井 野坂専務理事より要請書案が読み上げられ、満場一致で採択されました。

来賓の紹介後、「女性理事の登用について」岩手県の胆沢平野土地改良区より事例発表があり、全国 水土里ネット会長会議 宮崎顧問より情勢報告がありました。結びに本年度の全国土地改良大会開催 県である水土里ネット沖縄 知念副会長による「ガンバロウ三唱」で閉会しました。



全国水土里ネット 二階会長 挨拶



全国水土里ネット女性の会初代会長 萩原会長 感謝状授与



全国水土里ネット会長会議 宮崎顧問 情勢報告



ガンバロウ三唱

また、本県参加者は集い開催に併せ、本県選出国会議員に要請活動を行いました。



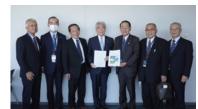
公明党 組織委員会地方議会局次長 組織委員会遊説局次長 福重 隆浩 衆議院議員への要請活動



中曽根 康隆 衆議院議員への要請活動



農林水産委員会委員長 笹川 博義 衆議院議員との懇談



中曽根 弘文 参議院議員への要請活動



国土交通大臣政務官 清水 真人 参議院議員への要請活動



総務副大臣 尾身 朝子 衆議院議員への要請活動

要 請 書(抜粋)

全国の水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、 一致団結して、次の事項の実現を図ることを国に要請する。

記

- 一 食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進の ため、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算において、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル 化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入 を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設管理の省力化・高度化を図るとともに、情報通信技術を扱う土地改良技術者等の人材育成を図ること。
- 六 主として中小規模の土地改良区を対象とした合併等を推進するとともに、土地改良区における複式 簿記の定着・活用、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など、運営基盤強化に対する 支援を推進すること。
- 七 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者 に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。
- 八 水田活用の直接支払交付金の見直しにおいて、土地改良に与える影響を踏まえ、必要な措置を講ずること。
- 九 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

令和4年度関東ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会

令和4年10月27日(木)~28日(金)、群馬県において「令和4年度関東ブロック換地関係異議紛 争処理実務研修会」が、全国水土里ネットの主催により開催されました。

研修会は、土地改良区体制強化事業に基づき、土地改良換地に関する異議紛争の未然防止及び早期解決を図るため、既往の異議紛争事例を活用し、異議紛争等の解決を促進することを目的としています。

事例発表後、関東ブロック各県、各県土連の出席者から質問等多岐に渡り議論が交わされ、今後の 業務の参考となる有意義な研修会となりました。





全国水土里ネット女性の会研修会

令和4年10月21日(金)、東京都千代田区「砂防会館別館」において「全国水土里ネット女性の会研修会」が開催され、当会から2名、また、全国から女性の会会員、土地改良連合会及び土地改良区の役職員など関係者100名が出席しました。

研修会では、全国水土里ネット 室本隆司専務理事から「農業農村整備について」と題し、土地改良区の業務・歴史、土地改良事業の公共性・目的、農業振興活動の重要性、農業農村振興に貢献する



グループワークの様子

土地改良区の必須条件等々について講演が行われ、その後、「男女共同参画推進に向けた、課題の解決」~"意識の醸成のための運動論"を探る~をテーマにグループワークを行いました。参加者は16のグループに分かれ、今後の男女共同参画推進の一考として、各々の意識醸成に対しての深堀り、課題に対する具体策(解決案)等について活発な意見交換が行われました。

ぐんま水土里ネット女性の会幹事会

当会では、令和元年度に農業農村整備部会の下部組織として『ぐんま水土里ネット女性の会』を立ち上げた後、コロナ禍の折、思うような活動が進められずにおりましたが、令和4年10月25日(火)、幹事として選任された土地改良区の女性職員8名、また、顧問として群馬県から3名の出席をいただき、初めての幹事会が開催されました。

普段は会議等に参加する機会の少ない土地改良区の女性職員も出席され、幹事会として初の顔合わせとなったため、土地改良区の紹介や主に担当している業務、困っていること・相談したいことなどを含めた自己紹介を行った後、第5次男女共同参画基本計画及び土地改良長期計画に"女性理事登用10%以上"の成果目標が掲げられたことによる全国的な動向や、他県の女性の会の活動状況等について事務局から説明を行い、意見や感想を頂きました。

その後、ぐんま水土里ネット女性の会の今後の活動について意見交換を行ったところ、「土地改良区の女性は賦課金徴収業務を担当している人が多いが、外に出る機会が少ないため他の土地改良区の方

との面識が薄く相談することが難しかった。"女性の会"をきっかけに横のつながりを深めていきたい」「現地の視察研修に女性職員が参加するチャンスが少なく、土地改良施設を実際に見る機会が無いので、土地改良施設の視察を絡めた研修会を開催して欲しい」など、活発に意見が交わされました。



「ぐんま水土里ネット女性の会」会則(抜粋)

(目的)

第2条 この会は、会員相互の親睦と水土里ネットの業務に携わる女性のネットワークを広げ、情報の共有化や連携の強化を図るとともに研修会等への参加による自己研鑽により知識やスキルの向上に努めることで、農業農村整備事業の推進と共に女性にとって魅力のある、働きやすい環境を作ることを目的とする。

(会員)

第4条 この会は、会の目的に賛同する水土里ネットに在籍する女性職員をもって構成する。なお 第2条の目的に賛同する全国水土里ネットや都道府県水土里ネット男性役職員の参加も妨げない。 随時 会員募集

令和4年度 土地改良区等役職員研修会

令和4年11月7日(月)、群馬県JAビル「大ホール」において、農業農村整備の円滑な推進と土地 改良区の運営管理を行う役職員の技術向上を図ることを目的とした「令和4年度 土地改良区等役職 員研修会」を開催しました。

熊川会長による開会の挨拶に続き、来賓として出席された群馬県農政部参事 松井農村整備課長よ り挨拶をいただき、全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎様のビデオメッセージによる 挨拶をいただきました。

研修は下記のとおり行われ、117名の参加者が熱心に受講されました。

研修科目	講師
土地改良区をめぐる情勢について	関東農政局農村振興部土地改良管理課
	課長補佐 細貝 輝 様
農業農村整備事業の広報活動について	群馬県農政部農村整備課
	企画係 補佐 松本 裕弘 様
土地改良団体における男女共同参画	全国土地改良事業団体連合会
	土地改良広報センター
	主査 野口 直子 様
日本の食料を考える	参議院議員 進藤 金日子 様
	(全国水土里ネット会長会議顧問)



熊川会長 開会挨拶



講師 全国土地改良事業団体連合会 土地改良広報センター 野口主査



講師 進藤参議院議員



研修会の様子

第44回全国土地改良大会(沖縄大会)

令和4年11月22日 (火)、沖縄市の沖縄アリーナにおいて、復帰50周年記念 第44回全国土地改良 大会沖縄大会が開催されました。

大会テーマ「水土里(みどり)の拓(ひら)くみるく世(ゆ)を鳴(な)らしとうゆまし守禮(しゅれい)の邦(くに)から」のもと農業・農村を発展させ、次世代へ引き継いでいくことを目的とした今大会は3年ぶりに一堂に会して開催され、全国から約2,300名の土地改良関係者が参加しました。

沖縄県土地改良事業団体連合会 古謝会長の「食料を安定確保するため、これまで以上の農村地域の整備を進めていく。豊かな農業、農村の振興に取り組んでいきたい」旨の開会挨拶で幕を開け、主催者の全国土地改良事業団体連合会 二階会長は「全国の農業を守るため、農業関係者を支えることを確かめ合う、沖縄大会にしたい」と挨拶しました。

また、玉城デニー沖縄県知事、桑江沖縄市長の歓迎のことば、勝俣農林水産副大臣をはじめ、地元 選出国会議員や県会議員から来賓祝辞があり来賓紹介、祝電披露が行われました。



開会挨拶 沖縄県土地改良事業団体連合会 古謝会長



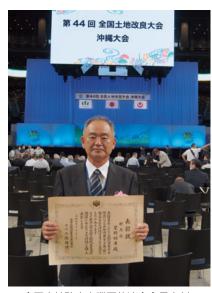
主催者挨拶 全国土地改良事業団体連合会 二階会長



歓迎のことば 玉城デニー沖縄県知事

当会からは、土地改良区及び本会役職員等36名が参加し、土地 改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農 村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名 が表彰され、群馬県から赤城大沼用水土地改良区理事長 星野 好 孝様が全国土地改良事業団体連合会長表彰の栄誉を賜りました。

引き続き、農林水産省農村振興局 安部次長による基調講演が行われ、その後、優良事例紹介として「地下ダムが変えた宮古農業とこれからの期待」と題して農業生産法人(有)大嶺ファーム 上地代表取締役、「読谷村軍用地返還跡地土地改良事業と瀬名波地区について」と題して瀬名波土地改良区 當山理事長より紹介がありました。



全国土地改良事業団体連合会長表彰 赤城大沼用水土地改良区理事長 星野 好孝 様

その後、沖縄県土地改良事業団体連合会職員による 大会宣言が行われ、最後に次期開催県として福井県土 地改良事業団体連合会 山﨑会長が大会旗を引き継ぎ、 挨拶を行いました。





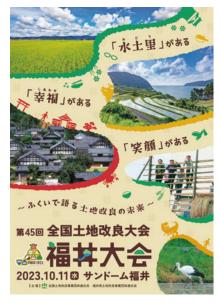
翌日は、慶座(ギーザ)地下ダム 水位水質観測施設に おいて事業視察を行いました。



群馬県参加者集合写真

第45回 全国土地改良大会 福井大会

2023年10月11日冰 サンドーム福井(越前市)





鹿田山フットパス整備作業が開催されました

令和4年10月13日(木)、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のもと、「鹿田山フットパス整備作業」が開催され、主催者であるNPO法人鹿田山環境保全ネットワークに参加する多くの団体や群馬県立渡良瀬特別支援学校の生徒など199名が参加しました。散策道脇に置かれたウッドチップの山から袋やバケツにウッドチップを入れて、雨による流失や自然





分解で朽ちてなくな り地肌が見えている 箇所まで運び、平ら

に敷き詰める作業を行いました。整備作業はウッドチップを 敷くことで雑草の生育を抑え、足に優しいふかふかの散策道 に仕上げます。毎年恒例となっている地元女性部手作りのカ レーによる昼食会はなくなってしまいましたが、お弁当が配 られました。

2022ウォークイン 邑楽が 開催されました

令和4年10月23日(日)、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のもと邑楽土地改良区主催で「2022ウォークイン邑楽」が開催されました。

邑楽土地改良区事務所を起点とし、土地改良区職員が土地改良施設の説明をしながら約6.0kmのコースを歩き、ウォーキング後は、ひょっとこと和太鼓の地元芸能鑑賞会が行われました。帰りには、参加者全員に地場産の新米ときゅうり、お弁当が配られました。







令和4年度 ため池サポートセンターぐんま技術研修会

令和4年11月1日 (火)、令和4年度ため池サポートセンターぐんま技術研修会が開催されました。本年度は、新型コロナウイルス感染対策のもと群馬会館で開催され、関係者63名が参加されました。開会にあたり、群馬県農政部農村整備課 福島水利保全対策主監より挨拶をいただき、その後、防災重点農業用ため池に関する研修が行われました。

受講者からは、「ため池についての知識が浅かったが基礎から説明してくれたのでわかりやすかった。 また、ため池に関する点検意識や防災意識が高まった。」との感想をいただきました。

研修内容	講師				
①県内の防災重点農業用ため池について	群馬県農政部農村整備課 補佐(整備係長) 三木 昌憲 様				
②防災重点農業用ため池の安全管理について	群馬県土地改良事業団体連合会 技術課 水土保全係 チーフ係長 井野 英明				
③防災重点農業用ため池の現地パトロール 及び施設の点検指導について	群馬県土地改良事業団体連合会 技術課 水土保全係 チーフ係長 井野 英明				





第73回 農業農村工学会 関東支部大会

令和4年11月10日 (木)、農業農村工学会関東支部主催の「第73回農業農村工学会 関東支部大会」の研究発表がオンライン形式で開催されました。大学生や民間企業、国や県の職員など計34名による発表が4会場に分かれて行われました。

当会からは管理課の霜田補佐が「農業集落排水施設におけるICT(遠方監視装置)の活用について」の発表を行いました。本会では遠方監視装置を活用し、農業集落排水施設の運転状況や各種情報履歴を把握することで、施設や機器の異常を早期発見し、水質の維持・改善提案及び運転管理指導に活用しています。

令和4年度 第2回理事会

令和4年11月29日(火)、前橋商工会議所会館において第2回理事会を開催しました。

熊川会長の挨拶に続き、来賓として出席された群馬県農政部参事 松井農村整備課長から挨拶をいただき、議事に入りました。

理事会は、理事10名、監事3名の出席のもと行われ、議案はすべて原案のとおり承認・議決されま した。

◆議 事◆

議案第1号 土地改良施設維持管理適正化資金拠出約款の一部改正について

議案第2号 令和4年度(第2回)収入支出補正予算について

議案第3号 群馬県土地改良事業団体連合会 支部長の委嘱について



令和4年度「第2回監事会及び監査」

令和4年12月22日(木)、当会において第2回監事会及び監査を開催しました。

監査では、村上代表監事から「調査・確認、協議をした結果、諸帳簿など特に問題はなく、概ね良好と認め、業務執行にあたっては、今後とも細心の注意を払うとともに、会員からの信頼のおける連合会であってほしい」との監査結果報告がありました。

◆議 事◆

第1号 監査の実施計画について

第2号 監査結果の処理方法について

第3号 その他監事が必要と認めた事項について

◆監査実施事項◆

- (1) 令和4年度業務に関する事項について
- (2) 令和4年度会計経理に関する事項について
- (3) その他



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2022

令和4年10月6日(木)・7日(金)、砂防会館別館会議室において全国水土里ネット及び都道府県 水土里ネット主催の「未来へつなごう!ふるさとの水土里みどり子ども絵画展 2022」の審査が行 われ、全2,993作品の応募の中から、入賞31作品、地域団体賞44作品、入選126作品、佳作203作品 が選考され、12月4日(日)~12月11日(日)に東京都美術館で展示会が開催されました。

「子ども絵画展」は、子どもたちに田んぼや水、農業農村や自らの環境などに関心を持ってもらい、 この財産を次世代へと引き継いでゆくことを目的に開催しており、小学生以下を対象とした絵画コン クールで今回で23回目となります。せきや水路、田んぼや棚田、畑、ため池、そこに棲む生き物たち、 農業に関する古くから伝わる風習、郷土料理、様々な農作業風景や地域のお祭りなどを題材に描いた 絵画を応募しております。群馬県では下記作品が入賞・地域団体賞に選ばれました。



環境大臣賞

「美しいホタルの群れ」 高崎市 小学校4年 関口 哲暉さん





日本基礎技術質

「じゃがいも畑」 高崎市 小学校2年 藤巻 橙弥さん





高崎西部土地改良区

「里芋畑のアンブレラ」 高崎市 小学校6年 佐藤 花香さん





水土里ネット長野堰

「大好きな景色」 高崎市 小学校6年 吉田 葉月さん





水土里ネットまちやば 理事長賞

「おそうじがんばれ カブトエビ」 太田市 小学校3年 今井 彬太郎さん



全国水土里ネットホームページにおいて展示会の様子が掲載されています。 https://www.inakajin.or.jp/works/pr/kids-art



令和5年「全国水土里ネット会長会議顧問」との 質詞交換会が開催されました

令和5年1月5日(木)、当会において令和5年「全国水土里ネット会長会議顧問」との賀詞交換 会及び意見交換会が開催されました。

熊川会長をはじめ参加いただいた本会役員及び近隣土地改良区理事長の計14名よりご意見をいただいた後、全国水土里ネット会長会議 進藤顧問より「あけましておめでとうございます。昨年度は肥料の高騰、電力料金の高騰対策に取り組ませていただきました。ただ、いつまで続くのかということが不透明であり大きな課題であります。また、平成11年に制定された食料・農業・農村基本法の見直しをしておりますが、現在抱えている問題として、食料をどのように確保していくのか、予算は確保しても日本の人口は減っており人手不足や担い手不足となっているため、現場の執行能力が落ちており対応が大変となっています。限られた予算の中でどのようにして最大の効果を出していくのか、皆様方のご意見をいただきながら宮崎議員と共に実態に合った食料安全保障を進めていきたいと思っております。」旨の挨拶をいただき意見交換を行いました。





今後の予定

開催日	主催者名	行 事 名	開催場所
2月8日	全国土地改良事業団体連合会	令和4年度統合整備推進研修 (会計研修)	群馬県JAビル(前橋市)
2月24日	群馬県土地改良事業団体連合会	第3回理事会	前橋商工会議所
3月22日	群馬県土地改良事業団体連合会	第66回通常総会並びに 第57回土地改良功労者等表彰式	群馬県JAビル(前橋市)
3月23日	全国土地改良事業団体連合会	第64回通常総会 全国水土里ネット表彰式	東京都

秋の叙勲

令和4年秋の叙勲が発表され、待矢場両堰土地 改良区理事長の木村 實様が土地改良功労で旭日 双光章を受章されました。土地改良区の発展と土 地改良事業の推進にご尽力いただき弛みない努力 に敬意を表し、今後とも益々ご活躍されることを ご期待申し上げます。誠におめでとうございます。



資格 取得

当会では会員の皆様の期待に応えられる事業実施のため各種資格取得、技術力の向上に努めています。このたび調査・換地課 主事 磯田 樹が土地改良換地士に合格しました。



柳澤 本次 氏 ご逝去

当会元会長である栁澤 本次氏が去る令和4年12月15日にご逝去されました。昭和38年から箕郷町長を3期12年勤め、昭和50年に県議初当選し7期28年務める間、自民党県連幹事長、県議会議長など要職を歴任されました。また、昭和59年6月から本会理事に選任され、平成元年10月から副会長、平成2年6月から平成22年3月まで5期に渡り会長に就任し、計26年間、県内の農業農村整備事業推進に多大な貢献をされました。

柳澤氏の業績をたたえ、生前の面影をしのびつつ、心からご冥福をお祈りいたします。

\$

										社
理	理	理	理	理	理	常務理	副会長理事	副会長理事	会長理	種質
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	新
星野	後閑千代壽	石川	堤	大山	木村	片山	齋藤佐太夫	山本	熊川	年
好孝	代壽	徹	盛吉	善弘	實	茂	太夫	龍	栄	
			監	監	代表監	理	理	理	理	
		外	事	事	事	事	事	事	事	
		八職員一同	畑村	荒山江	村上	石原	三田	井上	長谷川最定	
		一同	繁	知郎	行正	康男	繁雄	正文	最定	



夢ふくらまそう・未来はぐくもう **ぐんまの農業農村整備**



群馬県土地改良事業団体連合会 ホームページ

URL:http://www.kakasi.or.jp/

水土里ネット 群馬

本 所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4 Tel027-251-4105 fax 027-251-4139

〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4 中西部事業所 Tel027-251-4106 fax 027-251-4222

〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1 利根·吾妻事業所 Tel0278-23-2161 fax 0278-23-2180

東部事業所 〒370-0392 群馬県太田市新田金井町29

(新田庁舎内)

Tel0276-55-6185 fax 0276-55-6186